

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 清泉幼稚園
種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他（ ）
住所 〒051-0036
 北海道室蘭市祝津町3-10-7
E-mail : seisen@lilac.plala.or.jp
Website : http://www16.plala.or.jp/seisens/
児童生徒数：男子 51 名 女子 64 名 合計 115 名
 児童・生徒の年齢 3 歳～ 6 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ ）

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

* 国際理解

【12か月のあいさつ】

低年齢ということもあり、教えられることにも限りがあるが、地球上には様々な人種がいて、それぞれの文化と習慣で暮らしているということを毎年継続して知らせている。『世界の挨拶』も定着し、今年も、その月毎にひとつの国にターゲットを絞り、挨拶、文化、生活習慣、食べ物など、年齢によって解る範囲で学んでいる。

月	国	朝の挨拶	帰りの挨拶	お礼のことば	有名なもの(例)
4月	日本	おはよう	さようなら	ありがとう	スカイツリー・富士山
5月	イギリス	グッドモーニング	グッドバイ	サンキュー	バッキンガム宮殿
6月	韓国	アンニョンハセヨ	アンニョヒカシプシオ	カムサハムニダ	キムチ
7月	インド	ナマステ	ナマステ	ダニヤヴァード	カレー
8月	ブラジル	ボンジア	チャウ	オブリガード(男性) オブリガーダ(女性)	サンバ・サッカー (ワールドカップ)
9月	フランス	ボンジュール	オウルヴォワール	メルスィーポクー	エッフェル塔
10月	アメリカ	ハイゼアー	スィーユーレイター	サンクスアロット	自由の女神
11月	ギリシャ	カリメーラ	ヘレテ	エフハリスト	神殿・神話
12月	フィンランド	モイ	ヘイヘイ	キートス	ムーミン・オーロラ
1月	チリ	ブエノスディ阿斯	アスタルエゴ	グラシ阿斯	モアイ像・ワイン
2月	中国	ザオシャンハオ	ツアイツエン	シェシェ	北京ダック・雑技暖
3月	アフリカ	ジャンボ	クワヘリ	アサンテサーナ	野生動物

【いろいろな国の人たち】

挨拶をはじめ、いろいろな国の文化の違いを学べるよう保育に取り入れている中で、2014年1月に、本園の職員が、フィリピンに支援活動に行ってきた。(2013年11月に、レイテ島に大型台風が上陸し、壊滅的被害を受けた)そのことについて報告をし、今後の支援に繋がられるような活動を子どもたちとともに模索中である。

同時に、本園の卒園生(現在中学生)が、ユネスコ主催の視察に参加し、カンボジアを視察して来たことを受け、本園の園児たちにも2015年2月13日に、報告会(年長児のみ参加)をしてもらった。これは、国際理解というものだけでなく、とても良い『交流』の機会であったと感じている。



(カンボジア報告会)



(フィリピン支援)

* 環境

本園が、ユネスコ・スクールに登録されてから継続しているエコキャップ・リングプル収集も、すっかり定着した。父母の協力と、子どもたちが持ってきたものを入れる『しごと』の喜びが、継続の後押しをしてくれている。

また、集めたものを近くの学校に持っていくが、その際の学生との交流も和やかでとても良いと感じる。

使い古しメガネ、切手、書き損じ葉書の収集も、低年齢児にはわかり易く協力しやすいリサイクル&支援活動だと感じている。

ただ、普段から出るものではないので、何度か手紙で知らせ、親にも意識してもらえるような努力をしている。それもあってか、こちらも少しずつ定着してきたように思う。

他にも、微力ながら中国植林への募金や、洞爺の『9千年続くいのちの森作り』、町のシンボルツリーの植林等への協力もした。これからも継続し、経過を見守っていききたい。



命の森作り

* 伝統文化

ハロウィン、クリスマス、バレンタイン等、主に『えいごあそび』からの発展で、外国の有名な行事に、みんなで参加することが多い。今年も、ハロウィン週間を皆楽しみにしていて、子どもたちのアイデアを親が形（衣装）にしたリ、自分で工夫して小物を作ってくるなど、とても楽しい体験となっているようだ。

また、恒例の『歳末助け合いチャリティー演芸大会』での樽太鼓発表をはじめ、1年の行事を通じて、日本の行事にも注目し、日本人としての心を育てられるよう取り組みを進めている。



ハロウィン



クリスマス



バレンタイン



施設訪問（七夕）



樽太鼓
（チャリティー演芸）



もちつき

文化体験例

* 食育

他にも、昨年取り組んだ『ころたん（メロン）』の栽培（みどりのカーテン）や、自分たちでジャガイモ・大根などを育てて収穫して調理する等（食育）など、幅広く『ユネスコ活動』を意識して取り組んできた。実際に自分の手で育て成長を見守り頂くことは、一番わかりやすく身近で、一番効果があると感じる。実際に、「みんなで食べると美味しいね。」「家のより美味しい！」「おかわり5杯目」など、喜んで取り組んでいる。



緑のカーテン



大根収穫



カレーパーティー

* その他

すっかり恒例となった室蘭市内のユネスコ・スクールが集まったの活動報告会『ユネスコ・フォーラム』も、参加校、参加者も増え、会場が熱気に包まれる中、それぞれの活動についての報告に耳を傾けていた。



(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

)